

## 英国のナショナル・カリキュラムにおける 現代外国語科の扱いについて (I)

伊原 巧

### I. はじめに

1988年に成立した「教育改革法」(The Education Reform Act 1988)に沿って、1989年にはイングランドとウェールズの義務教育諸学校の生徒のためにナショナル・カリキュラム(National Curriculum)と呼ばれる全国共通の教育課程が作られた。このナショナル・カリキュラムは、英語、数学、理科の3つの核教科(core subjects)と、歴史、地理、技術、現代外国語、音楽、美術、体育の7つの基礎教科(foundation subjects)とから成る。ただし、ウェールズでウェールズ語を使用している学校では、ウェールズ語は核教科の1つであり、その他の学校では11番目の基礎教科となっている。

また、1991年に作成され、1992年1月1日発効の「教育(ナショナル・カリキュラム)(現代外国語)規則」(The Education (National Curriculum)(Modern Foreign Languages) Order 1991)によると、現代外国語の科目として挙げられている言語は、アラビア語、ベンガル語、中国語(広東語又は北京語)、デンマーク語、オランダ語、フランス語、ドイツ語、ギリシャ語(現代)、グジャラト語、ヘブライ語(現代)、ヒンズー語、イタリア語、日本語、パンジャブ語、ポルトガル語、ロシア語、スペイン語、トルコ語、ウルドゥー語と、実に数多くある。しかしこれらの内、基礎教科として認定されているのは、EC諸機関の公用語となっている言語(デンマーク語、オランダ語、フランス語、ドイツ語、現代ギリシャ語、イタリア語、ポルトガル語、スペイン語)である。ただし、学校でこれらの公用語の内の1つあるいはそれ以上の言語を教えていれば、これらの公用語以外の言語を基礎教科に認定してもよいとしている。

さらに、1991年に作成され、1992年8月1日発効の「教育(ナショナル・カリキュラム)(現代外国語科における達成目標と学習計画)規則」(The Education (National Curriculum)(Attainment Targets and Programmes of Study in Modern Foreign Languages) Order 1991)には、現代外国語を教える場合の領域、学年、開始時期、達成目標、達成内容、学習内容等が細かに記述されている。この教育規則は、日本の学習指導要領の外国語科の基準と対応するものである。

そこで本稿と次稿において、将来、日本の学習指導要領と比較する場合の資料となるように、「教育(ナショナル・カリキュラム)(現代外国語科における達成目標と学習計画)規則」の内容を紹介するが、本稿では、紙幅の関係で、現代外国語科の達成目標3までを紹介し、達成目標4と学習計画は次稿で紹介する。

## II. 学年と鍵段階

英国の義務教育への就学年齢は5歳であるが、今回の新制度では18歳までのカリキュラムの一貫性を実現することに重点が置かれており、この期間を生徒の成長段階に応じて5つのグループに分けることによって一貫性を確保している。まず、1学年と2学年を鍵段階1 (Key Stage 1) と位置づけ、以下、鍵段階4までのグループと、鍵段階のないグループも設けている。〈図1〉は各鍵段階とその学年、および各学年修了時の年齢を示したものである。

〈図1〉

鍵段階	学 年	学年修了時の年齢
1	1年	6歳
	2年	7歳
2	3年	8歳
	4年	9歳
	5年	10歳
	6年	11歳
3	7年	12歳
	8年	13歳
	9年	14歳
4	10年	15歳
	11年	16歳
—	12年	17歳
	13年	18歳

この内、現代外国語が教えられるのは、鍵段階3と4においてであり、日本の小学校6年生から高校1年生の時期に相当することになる。また、鍵段階4にはモデルA (Model A) と呼ばれる完全コース (full course) と、モデルB (Model B) と呼ばれる短期コース (short course) の2つが用意されている。短期コースは完全コースの約半分の学習内容となっている。コースの選択については学校に任されているが、選択にあたって学校は親の意見を聞くこと、および個々の生徒の教育上並びに職業上の関心に留意することとしている。

また、1995年の夏期には鍵段階3を修了した全生徒に、平常評価と標準テストの結果を合わせた第1回目の学力評価 (statutory assessment) が行われ、1997年の夏期には鍵段階4の完全コースを修了した生徒に第1回目の学力評価が行われる予定であり、短期コースの修了生にも同様の措置が取られることになっている。

## III. 達成目標と達成内容

現代外国語科の達成目標は、達成目標1のリスニング、達成目標2のスピーキング、達成目標3のリーディング、達成目標4のライティングの4つの領域に分けて述べられている。各領域の達成内容は1～10のレベルに分けられて例とともに述べられているが、これらの例は単なる例示にすぎず、法的拘束力を何ら持つものではないとしている。以下に達成目標と達成内容を示す。

### 達成目標1：リスニング

話し言葉を理解し、それに応答ができる能力をのばすこと

レベル                      達 成 内 容                      例

生徒は：

- 1      a) 4語までの慣れ親しんだ発話を理解し、      簡単な挨拶、指示、陳述、質問に

- |   |  |   |
|---|--|---|
|   | それらに応答できること  | 応答する  |
|   | b) 一覧表にある個々の単語を聞き取れること                             | 一覧表にある食べ物と飲み物を表す単語を聞き取る、発音された単語の意味を表す絵を指す、歌やゲームの中の個々の単語を理解し、それらに応答する  |
| 2 | a) 簡単な文の要点を理解し、それに応答できること                          | 録音された簡単なインタビューの中でどの話題が話されたかグリッドに印す、歌の中に出てくる様々な行為を真似る                  |
|   | b) 親しみのある発話の中の特定の細部を聞き取り、理解できること                   | 簡単な対話文の中に出てくる余暇の活動を話された順に並べる  |
| 3 | a) 簡単な文に出てくる親しみのある言葉から成る短い指示、伝言、対話を理解し、それらに対応できること | 数多くの短い指示を聞き取り、必要あればそれらをノートに取り、その後それらを実行に移す                            |
|   | b) 短い指示、伝言、対話の要点と特定の細部を聞き取り、書き留めることができること          | 指示に従って地図に特定の建物や陸標の名前や場所を示す  |
| 4 | a) 簡単な文に出てくる親しみのある言葉から成る長い指示、伝言、対話を理解し、それらに対応できること | 天気予報を聞き、地図に記号をつける、有名人との実際または架空のインタビューを聞き、誰であるのか当てる                    |
|   | b) 親しみのある長い伝言や対話の中の特定の意義ある細部を聞き取り、書き留めることができること    | 歌を聞いて、数字や形容詞のように範疇の異なる単語を書き留める、広告を聞いて日常品の価格や名前を選び出す                   |
| 5 | a) 親しみのある単語、句、文を含む連続した文を様々な文脈で理解し、それらに対応できること      | 自分の職業について述べている人々への短いインタビューをビデオで見て、それぞれの職業の様々な側面を書き留める                 |
|   | b) 連続した長い話し言葉から特定の情報や細部を聞き取ることができること               | ロールプレイで電話をしながら、列車の時刻や切符の値段を書き取る                                       |
| 6 | a) 親しみのある言葉を含む発話を親しみのない文脈で聞き、それらに対応できること           | 国内や外国の学校での授業を紹介したカセットを写真やパンフレットを見ながら聞き、議論をしたり、概要を書いたりする時に使用できるよう書き留める |

- b) 短い物語文を含む発話の要点や主眼点を理解できること  
 学校のある町を説明した文から主眼点を選び出す(例, その気候, 場所, 旅行者の見所, 祭り)
- c) 親しみのある文から特定の情報や細部を聞き取ることができること  
 劇場のアナウンスの録音から映画の開始時刻とタイトル並びに座席案内を聞き取る
- 7 a) 単文と複文並びに親しみのない文を含む発話を理解し, それらに対応できること  
 外国からの訪問者やラジオ, テレビでのインタビューかドキュメンタリーが語る情報に基づいて, ある海外の町に関するアンケートを完成したり, データを増やしたりする
- b) 伝言, ニュース, 物語文の要点をまとめ, 特定の情報や細部を報告できること  
 ニュースの主な項目を聞き, 小型のソフトウェアを使用して, 新聞の一面の概要を書く
- 8 a) 色々な意見や視点が述べられている様々なタイプの発話を理解し, それらに対応できること  
 国や地方における問題に関する議論を聞き, 各話者の見解を特定, 説明する
- b) 親しみのある文や, あまり親しみのない文を聞いて, 推測できること  
 電話で話している人の言葉を聞いて, 相手の話している内容や会話の話題を推測する
- c) 言語的あるいは文化的なことを手がかりにして, 態度や感情を認識できること  
 ある地方の人々がその地方の伝説についてインタビューを受けているのを聞き, かれらのその伝説に対する態度と感情の堅固さを認識する
- 9 a) 現代の問題点や関心事を含む, より広範な文脈におけるフィクションとノンフィクションの発話を理解し, それに応答できること  
 健康食品の広告を聞き, 健康的な日常生活に関する議論に聞いたことを利用する
- b) 様々な意見や議論を含むニュース, インタビュー, ドキュメンタリーの概要を詳しく述べたり, 短い要点を報告, 説明できること  
 町の再開発計画のテレビ討論を見て, 論点を述べる
- 10 a) 具体的または抽象的な話題に関して推測を行ったり, 概要を述べたり, 報告を行ったりしながら, フィクションとノンフィク  
 映画や芝居のある場面における主人公の様子を述べたり, プロットを説明したり, 出来事の概要を述

- |   |   |
|---|---|
| <p>ションの発話に応答できること</p> <p>b) 話し言葉が、その話し手、聴衆、目的、場面、話題によっていかに異なったものになるのかを認識し、述べるができること</p> | <p>べたりする、その場面の前後に何が起こったのかを推測する</p> <p>質問をうまく構成することによって、広告用の言葉、子供用の話し、ニュース報告、家庭や他の場面での会話の違いを認識する</p> |
|---|---|

## 達成目標 2：スピーキング

言葉でコミュニケーションができる能力をのばすこと

レベル	達成内容	例
生徒は：		
1	<p>a) 見聞きしたことに簡単に応答できること</p> <p>b) 目標言語によく似た発音、イントネーションで真似ができること</p>	<p>「はい」「いいえ」を言い、年令と名前を言い、絵の中の物や親しみのある項目の名を言う</p> <p>簡単な質問、新出語句、挨拶、1～10までの数字、韻文、歌、早口言葉を繰り返す</p>
2	<p>a) 見聞きしたことに短い簡単な応答文を言うことができること</p> <p>b) 簡単な情報を提供したり、見つけ出したることができること</p> <p>c) 援助を求めていることが理解されるようになること</p>	<p>人々や場所や物（例、その色や大きさについて）を簡潔に記述する</p> <p>簡単な質問をしたり、それに答えたりする（例、自分自身や自分の家族について）</p> <p>タスクに関して援助を求める（例、“I don't understand”）、“What does...mean?” “What's the (FL) for..?”などの決まり文句を使用する</p>
3	<p>a) 記憶している言葉を用いて、明瞭な発音で会話を始めたり、応答したりできること</p> <p>b) 記憶している語句を応用できること</p> <p>c) 簡単な言葉で感情と好き嫌いを言うことができること</p>	<p>休日に出会った同じ年齢の人と簡単な「初めて出会った時の」会話をする</p> <p>様々な機関の開始時刻と終了時刻を色々変えて言う（例、the bank/post office... opens/closes at...10.00/11.00）</p> <p>短い応答文を言う（例、“it's good”, “it's boring”, “I agree”; “so do I”, “I like/dislike...”）</p>

- |   |  |  |
|---|--|--|
| 4 | <ul style="list-style-type: none"> <li>a) 適切な言葉を用いて、親しみのある話題で会話やロールプレイをしたり、応答できたりすること</li> <li>b) 日常の活動、興味、将来の計画について短い発表や思い付きの話しができること</li> <li>c) 「なぜ」という質問に対して簡単な説明ができること</li> </ul>                             | <p>他の生徒や大人たちと質問表を用いて質疑応答する（例、余暇や食べ物好き嫌いについて）</p> <p>趣味、家庭生活、将来の職業について、メモや準備してきた内容を用いて短い話しをする</p> <p>テレビ番組や教科の好き嫌いの理由を簡単に述べる</p>                            |
| 5 | <ul style="list-style-type: none"> <li>a) 話題を次々と変えながら短い会話を維持し、簡単な言葉で感情や意見を述べることができる</li> <li>b) 簡単な記述体の言葉を用いて、人や場所、自分自身の最近の経験や未来の出来事について、簡潔に述べるができること</li> <li>c) 親しみのある言葉を用いる時に、自信をもってはっきりと話すことができること</li> </ul>  | <p>話し相手に、学校内外の活動について情報、見解、意見を求めたり提供したりしながら、話しをする</p> <p>新聞に出ている天気予報や地方の行事案内を見て、来週の活動計画を立てる</p>   |
| 6 | <ul style="list-style-type: none"> <li>a) 未予知要素を含んだ親しみのある話題について、自発的な会話を始め、維持することができること</li> <li>b) 過去、現在、未来の行動や出来事についてたずねたり、記述したり、話したりすることができること</li> <li>c) 詳細な意味をたずねたり、その説明ができたりすること</li> </ul>                  | <p>友人に電話をして、外出できない場合のことも話し合った後に、外出の計画を立てる</p> <p>日記の記録、予定表、写真、おみやげを用いながら、現実または架空の最近の旅行について述べる</p> <p>ある単語や句の意味を説明してくれるようにたのむ、通知、掲示、新聞の見出しの意味を説明する</p>      |
| 7 | <ul style="list-style-type: none"> <li>a) 親しみのある場面での予期せぬ出来事に合わせた言葉の使用ができること</li> <li>b) ある程度詳しく意見を求めたり、それに答えたりできること</li> <li>c) 物事の行い方を教えたり説明したりできること</li> <li>d) 親しみのある話題について話す時は、流暢に、好音調で、誤りもまずなく話すこと</li> </ul> | <p>最近の出来事を写した写真に関する質問に答える（例、仕事、ハイキング）</p> <p>歌、物語、あるいは個人的にまたは時事問題として関心のある事柄について、意見を述べて正当化したり、意見を求めたりする</p> <p>何かの作り方（例、料理法）やどこかへの行き方を説明する、ゲームのルールを説明する</p> |

- ができること
- 8 a) 未予知要素のある場面や、見知らぬ人がいるところで会話を始め、維持できること  
 b) ある程度の語彙、構文、時を表す概念を用いて、事実、観念、経験について議論できること
- 9 a) 目的や文脈に合った言葉遣いをするために、語彙、構文、時制を変えながら、事実または架空の教材や話題について議論できること  
 b) ある陳述や意見を支持する理由をたずねたり、述べたりできること  
 c) そうでない場合の行動の取り方や、異なる結果になる場合について議論ができること  
 d) 音調を変えながら、流暢かつ自然に、たえず正確な発音で話せること
- 10 a) 事実または架空の教材に関する議論において、聴衆、目的、文脈に応じて言葉を使い分けながら、広範囲の言葉を用いて自由に、また形式上の誤りもまもなく話すことができること  
 b) 議論を展開したり理由を述べたりしながら、出来事、問題、意見に対する感じ方や態度を表明できること
- 来校している目標言語話者をもてなし、（計画を立てて）旅行案内を申し出、訪問者の質問に答える個人的経験や未来のことを当てにしながら、教育や仕事の世界について書かれたり話されたりしているテキストに応答する  
 友人との打ち解けた会話やより公的な場面で、個人的見解や意見を述べたり、たずねたりする（インタビューをしながら）  
 視聴者参加番組に電話をかけさせ、前の参加者の意見に理由を述べながら賛否を表明する  
 学校や地域の昨今の問題（例、学校である種の服装を禁じたり、近所でのハイパーマーケット建設に反対する提案）に対する賛否を論じる  
 写真や絵に描かれている出来事を報告し、他人から出された事実や意見にかんする質問に答える、短い物語や記事の概要を述べ、より詳細な質問に答える  
 事実や数字を簡潔に示して、意見を述べたりコメントを求めたりしながら、たばこの害に関する議論を行う

### 達成目標 3：リーディング

書かれた言葉を読み、理解し、それに応答ができる能力をのばすこと

レベル

達成内容

例

生徒は：

- 1 a) 文脈の中の個々の単語を理解し、それら 教室に飾ってあったり教科書に出

- に応答できること
- 2 a) 文脈の中の親しみのある短い句を理解し、それらに応答できること
- b) 問題集，教科書，辞典を参考にして，新出単語の意味を見つけることができること
- c) 親しみのある単語の子音と母音〔日本語では音節〕を聞き分けることができること
- 3 a) 短い単文から成るテキストを親しみのある文脈の中で理解し，それらに応答できること
- b) 〔中国語を学習している生徒を除き〕初めて見る手書きの単語や句を，筆記体の知識を駆使して認識できること
- c) 前もって何冊か用意されている中から，あるいは限られた範囲の短いテキストを1冊選び，自立的に読めること
- 4 a) 短い節や馴染みのない言葉を多少含む文から成る，事実または架空の短いテキストを，印刷体と手書き体の両方で理解し，それらに応答できること
- b) 言葉や筆記体に関する知識を駆使して，馴染みのない単語の意味を推測できること
- 5 a) 二カ国語辞典のような適切な参考資料を用いて，複文や馴染みのない言葉を含む短い物語文などのテキストを理解し，それらに応答できること
- b) 馴染みのない単語や句の意味を文脈から推測できること
- 6 a) 見解や意見を含むテキストを理解し，そ
- てくる記号や単語を認識する，ラベルと物体を一致させる，キーボードを使ってラベルと絵を一致させる
- タイトル，簡単な地図や図表，葉書の内容，簡単な歌，詩歌や短い漫画を理解する，書かれた簡単な指示に従う
- 本の中に出てきたり，年上の生徒が書いたりした対話を理解する，ワープロを使って各段落にタイトルをつける
- 読書計画表から適切なレベルの本やテキストを選ぶ
- 雑誌や新聞の記事の要点を特定する，他人に伝える情報をパンフレットから抜粋する，ペンパルからの手紙や伝言に返事を書く
- 句や複合名詞の意味を，その構成要素に関する知識から推測する
- 情報誌やパンフレット，新聞の短い切り抜き，ペンフレンドやホテルや旅行社からの手紙や電子メール，それに短い物語や歌を読み，そこで集めた情報を議論や書いたりする場合に用いる
- 単語や節の意味をよく考えて推測する
- 新聞や雑誌の記事に現れる様々な



- |    |   |  |
|----|---|--|
|    | れらに口頭か書いて応答できること  | 見解を特定する，広告や若い目標言語話者が書いた個人的な書き物に返答する  |
|    | b) 推薦図書から読書教材を選んで自立的に読めること                                      | 雑誌を走り読みして関心のある記事を探す，教室や図書館から自分のレベルに合った本を選ぶ，教師が作成した教材から一節選ぶ                     |
| 7  | a) 話題には親しみがあるが，複文や馴染みのない単語を含む広範囲のテキストを理解し，それらに応答できること           | 読書の後，親しみのある話題について自分の見解を表明したり，低学年の生徒に簡単な物語や彼らが初めて経験するような事柄を書く                   |
|    | b) 広範囲のテキストからある目標を持って情報を探し，抜粋できること                              | 番組，時刻表，ポスター，情報誌を読み，詳細を抜粋（選択）する，パンフレットや他の参考資料を研究課題の作業に利用する，応募用紙のような公的書類に書き込みをする |
| 8  | a) 話題に馴染みのないテキストを理解し，応答できること                                    | フィクションや詩の抜粋部分を読んで比較する，あまり馴染みのない話題に関する情報をデータベースから得る                             |
|    | b) フィクションを含む広範なテキストから読みの材料を選び，情報を得るためだけでなく，個人的関心からも読みができること     | 読みを必要とする集団作業で使用できる材料を選ぶ，読んだ本の個人的意見を記録しておく                                      |
|    | c) 構文や慣用表現を理解し，それらを話したり書いたりするのに使えること                            | 最近目にした単語，句，構文，慣用語句を，新たな文脈で用いてみる  |
| 9  | a) 一カ国語辞典や小辞典のような参考資料を選びながら使用して，様々な言語使用域を含むテキストを理解し，それらに応答できること | 公的・公式文書を読んで要点をまとめる，読みを創造的に書く動機にする  |
|    | b) 親しみのある問題が論じられていたり，証拠や見解が述べられている書き物を理解し，それらに応答できること           | 現代の諸問題に対して特定の見解や視点を表明している記事やレポートを読み，意見を述べる                                     |
| 10 | a) 事実に基づいたまたは架空の話しの中の対立点と要点をまとめ，それらについて意見を述べたり，議論したりできること       | ある主張に対する賛否両論を述べた記事について研究する，あるフィクションの諸側面について意見                                  |

b) 個人的関心や個人的に必要な情報を得るのにテキストを選べるような自立した読みのプログラムを計画・実行し、そのプログラムについて議論できること

を述べる、テキストについての短い論評を（口頭か文字で）表す適切な原典を選びながら使用して、かなりの程度自立的に読む、読み物の選び方や様々なテキストに対する意見について議論する

### 引用文献

Department of Education and Science and the Welsh Office (1991), *Modern Foreign Languages in the National Curriculum*, HMSO

付記：引用文献の入手は信州大学教育学部学校教育講座の金丸晃二助教授によって行われた。ここに感謝の意を表したい。

(1996年4月30日 受理)